



支部総会 12支部で開催



いんぐ

みえ医療福祉生活
協同組合・四日市地域
〒512-0911
四日市市生桑町1455
TEL (四日市地域本部)
059-330-0808
FAX (四日市地域本部)
059-330-0807
組合員数 (四日市地域)
4324世帯
5月加入数1世帯
5月脱退数7世帯
2022年度
出資金増資 (四日市地域)
125名186回
994,000円
(5/25現在)

4月は各支部で支部総会が開催されました。12支部で組合員126名が参加されました。各支部、2021年度活動報告、2021年度会計報告、2022年度活動方針、運営委員体制・総代選出等について提案され、承認されました。各支部工夫をこらし、支部総会終了後には学習会（加藤先生による講演）、折り紙、漢字クイズ、貯筋体操、お菓子のすくい取り等、楽しい企画も行われました。

感染防止対策をとりながら、今年度も引き続き、各支部や地域での医療生協活動にご参加・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



◆定年を過ぎて早や二十年が経ちます。歳と共に時代の変化を感じる日々です。医療福祉生協の組合員になっていろいろな事を教わって、協同の力で暮らしを守り発展させてゆくか、コロナ禍の中でもルールを守り、何か具体的な行動が。◆リーダーシップにメンバーシップを求められています。メンバーシップとは各自が役割を果たしてチームに貢献するか、生協の魅力をどこに。健康寿命元気で長生きだけでなく、社会に貢献する事を目標に日々日常生活に支障がない程度に暮らしたいものです。◆貢献寿命で 社会とつながり 何か役割を持って生きる。些細な事でも感謝されるボランティアで自分で舵取りをしながら暮らしの中に、働く・学ぶ・休む・遊ぶ事で生活のリズムをつくり、認知症にならないように生きてゆきたいものです。 平・〇



2021年度医療・介護評価 (満足度調査)

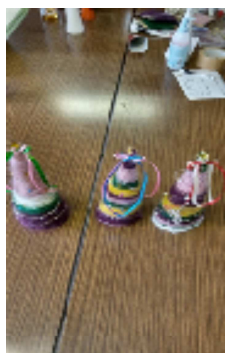
全国の医療福祉生協では毎年秋頃に医療・介護評価(満足度調査)を患者・利用者さんに行い、サービスの質の向上に活用しています。

通所リハビリ			合計 (件数)	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	評点	前回	全国平均	前回との 差	全国平均 との差
				10	5	0	△5	△10					
a	サービス提供内容を十分に説明された		51	72.5	17.6	9.8	0.0	0.0	8.1	8.9	8.1	△0.8	0.0
b	個人ごとの計画に沿って、サービスが提供された		49	65.3	24.5	10.2	0.0	0.0	7.8	8.4	8.2	△0.6	△0.4
c	施設は清潔で快適だった		50	76.0	18.0	6.0	0.0	0.0	8.5	8.8	8.5	△0.3	0.0
d	職員同士で連絡や引継ぎができています		48	81.3	16.7	2.1	0.0	0.0	9.0	8.7	8.3	0.3	0.7
e	職員の言葉遣いや態度には気配りが感じられた		50	80.0	14.0	2.0	2.0	2.0	8.4	8.9	8.7	△0.5	△0.3
f	提供されたメニューやプログラムは、満足できるものだった		49	69.4	22.4	8.2	0.0	0.0	8.1	8.8	8.0	△0.7	0.1
g	職員には、わからないことを聞きやすかった		51	84.3	11.8	3.9	0.0	0.0	9.0	8.8	8.7	0.2	0.3
h	送迎サービスは、安心して利用できた		50	88.0	8.0	2.0	0.0	2.0	9.0	9.6	9.2	△0.6	△0.2
i	入浴サービスは、満足できるものだった		42	92.9	7.1	0.0	0.0	0.0	9.6	9.2	8.1	0.4	1.5
j	食事は満足できるものだった		49	81.6	16.3	2.0	0.0	0.0	9.0	8.7	7.5	0.3	1.5
k	苦情や相談について、すみやかに対応できている		49	85.7	12.2	2.0	0.0	0.0	9.2	8.8	8.2	0.4	1.0
l	全体として利用しやすかった		51	86.3	13.7	0.0	0.0	0.0	9.3	9.6	8.8	△0.3	0.5
m	この事業所を知り合いに紹介したいと思う		49	81.6	10.2	8.2	0.0	0.0	8.7	8.5	7.5	0.2	1.2

結果を受けて

■全体的には高い評価をしてもらっており有難く思います。a, bについてはなぜ評価が低いのか考えました。リハビリ計画書や介護計画書は、もう少し丁寧に説明をして同意をもらうよう改善していきたいと思っています。また、昨年度はクラスターの問題が起こってしまいました。専門的な指導を受け感染対策を見直し、入浴や送迎についてたくさん改善を行いました。今後も安心して利用していただけるよう職員みんなで頑張っていきたいと思っています。

(主任 松田)



祭日、土日に関わらず毎月7日に「楽しく元気を取り戻す集い」を開催しています。いつもの参加者には7の日の集いとして長年親しまれています。軽いストレッチ、頭の体操。そして季節に添った企画に挑戦！書初め、七夕飾り、クリスマスツリー作りなどです。他に塗り絵、ちぎり絵、サイコロゲームなど1年を通して

シース支部紹介⑬

坂部支部
「楽しく元気を
取り戻す集い」



じ毎回違う事をやっています。残念なのは、今は季節の童謡の合唱が出来ない事。今回5月には、好きな色の毛糸でアクリルたわし、ボンボン作り。たわしをかぎ針で1針1針丁寧に仕上げ、真っ白いボンボンに触れて「うさぎみたい」と感激しました。

丹賀

写真上左：昨年七夕飾り、上右：クリスマスツリー作り

写真下：5月7日 アクリルたわし、ボンボン作り

【2022年5月19日ひまわりにて】

- ・事業所報告(いくわ診療所)
- ・2021年度総括2022年度方針、総代会について
- ・2022年度重点課題いきいきくらしの会等について

★次回は 6月16日に開催予定です。

【地域委員会とは?】 四日市地域の組合員さんの代表(主に各地域の支部)と職員が月に1回集まって、四日市の事業活動や組合員活動について報告・情報交換・論議を行っています。組合員と職員の協力で事業・活動を進めていく上での大事な会議です。

募集

是非ご紹介
・応募ください!!

是非ご応募・ご紹介をお願いします!!

- ◇ヘルパー(急募・パ・登録いずれでも可)
- ◇通所事業所介護職(パ)
- ◇通所介護・送迎運転手

《お問い合わせ》

みえ医療福祉生協・四日市地域

応募は 330-0808 桐山まで

知つとくポイント
くらしまちづくり委員会生活保護利用者の
車利用が可能に

生活保護を申請しようと思っても、車の使用は認められないと、諦めるケースがある中で、札幌市は、通勤、通院等に容認されていた車の使用を、目的以外に日常生活で利用する事を容認しました。

理由として①保有の車を使用する事こそ生活保護法四条一項の「資産の活用」に当たる事、②暮らしでの活用は、生活保護利用者の「自立の助長」につながる。(新解釈)

翻って見ると、生活保護の水準は、常に世間の普及率との闘いであった。電化製品等、過半数以上の世帯に普及されて、初めて必需品となった。ところが車は、高額だけでなく、維持費が多大な事から、いまだに制限されている。

今日の近代社会で車なしの生活は考えられないし、やむなく生活保護を受ける事によって、車を止められる事は、大変痛い事です。

車の利用が一部認められるようになったのは、過疎化と車の普及による所です。それも、“他に代る手段がない”という理由でした。

今回札幌市の決定では、暮らしでの活用は「自立の助長」につながるという、従来の見解から、正に原点に立ち返るという画期的転換であったと思います。

今後、これが先鞭となって全国に広まるよう、私達もがんばっていきたいと思います。

(くらしまちづくり委員会 花岡)

コロナ禍における子ども
たちの心身への影響

コロナ禍において子どもたちの生活は大きく変化しました。2020年春の突然の長期臨時休校以降、様々な側面で新しい生活様式を強いられました。コロナ前と比較しどのような変化があったのか、国立成育医療研究センターが実施したアンケート結果を元に紹介したいと思います。

診察室から

所長
田中 啓太

と考えるとどんな気持ちになる?とオーブンに尋ねてみてください。その事に対して直ぐに評価や解決しようとせず、それってつらいね」と

共感してください。そして、そういう時はどうしてるの?と子どもも主体で一緒に考えて対策を考えましょう。また、コロナ禍では親も同様にストレスを抱え、虐待事例も増えています。親自身も抱え込まずに周囲に相談するよう心がけてください。今回のテーマはリクエストを頂きました。今後もお待ちしています。

世代の約20〜30%に中等度以上のうつ症状が出現。

特に④⑤⑥は憂慮すべき事態です。では、どうしたら良いのか。まずは、話を聴くことが大事です。ただ、子どもたちだって何を話したら良いのか、何に困って不安なのか分からないものです。率直に心配していることを伝え、コロナのこ

今月はこれ！！

どんなに頼んでも、売ってくれない人のお仕事は？

今回は少し難しいかな？

いくわ診療所内 「いんぐ編集室」

答え>テーブル

★コロナ禍での活動の諸注意について★

コロナ拡大状況に応じて活動を展開します。自粛・延期・中止等柔軟な対応をお願いします。これまで通り三密を避け、少人数、感染予防策（マスク着用・検温・県外移動等のチェック）を徹底して下さい。体調が悪い時等は参加を見送って下さい。

◎班会・サークル活動・機関会議 開催OK

◎食事を伴う集まり、歌を歌う班会は当面中止とします!

◎事業所(ひまわり等)の使用制限(定員20名)

◆ご不明点・お問い合わせ等は◆

生協本部・組合員活動部 TEL 330-0808



いんぐ感想、組合員さんの近況紹介

◆このスタイルになって、やっとこのスタイルに慣れてきた。どの辺にどの記事がのっているということが分かるようになり、読みやすくなった。人物の写真が多いようだが、診療所等の利用ぶり等も見たいと思う。生桑が遠くてゆっくり見物に出かけられない。「ばんこ」の記事はいつも面白く楽しみに読んでいる。投稿される記事ものと皆さんがどのような読み方をしているかがわかるなと考えています。(F)



大人気。折々紐教室 (第54回)

☆日時☆6月10日(金) 10:00~

☆場所☆ひまわりにて（20名まで）

☆参加費☆ 100円 (材料費)

☆連絡先☆加藤みはる(尾平 332-5841)か
生協本部(330-0808)

*** 感染予防策を取った上での開催となります。スリッパ各自ご持参下さい。**マスク着用・手指消毒等のご協力をよろしくお願いします。コロナの感染拡大状況によっては中止となる場合もあります。予めご了承下さい。



発熱や風邪症状があり診察を希望される患者様へ

「受診前にまず診療所に電話で相談を！」

いくわ診療所では新型コロナウイルス感染症
対応として、発熱、咳やのどの痛み、だるさ、
味やにおいが感じにくい、頭痛、吐き気や下痢、
筋肉痛などの症状がある場合は、**直接来院され
ずに、事前に電話連絡をお願いします。**一般診療と
分けた時間・空間で診察します。

いくわ診療所 電話059-333-6471

※直接ご来院いただいた場合、診療の状況によっては対応できかねることがあります。

電話 9時〜17時30分
337-8895

月〜土 9時〜17時30分
電話 333-6756

デイスリーブスいくわ

電話 (33) 6472
ヘルパーステーションいくわ
月～土 9時～17時30分
電話 (37) 8885
通所リハビリいくわ

居宅介護支援事業所いくわ
月々土 8時30分～17時30分
電話 333-6475
訪問看護ステーションいくわ

救急医療情報センター◆
受診可能な医療機関の案内
電話 059 (229) 1199
【介護保険関連事業】

◆医師会の応急診療所◆
電話 059-353-1759

休日の病気やケガなどで緊急に医療機関を探したいときは左記をご利用下さい。

日・祝日・木曜日休診 【予約制】
★在宅療養が必要な方
には往診も行います★

	月	火	水	木	金	土
午前9時 ～12時	○	○	○	×	○	○
午後4時 ～7時	○	×	○	×	○	×

四日市市生桑町1455番地
電話 059(333)6471

ひくわ診療所

住所変更等された方はご連絡ください。また、当人が亡くなられて名義変更が必要な場合もご連絡をお願いいたします。

みえ医療福祉生協・四日市地域本部まで。